



## 青森県感染症発生情報 (2018年第30週)

### I 第30週の発生動向 (2018/7/23~2018/7/29)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が発令されました。また、弘前保健所管内では定点当たり報告数が4.78となり、警報開始基準値(5)に近づいています。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が6週連続で増加し、特に東地方+青森市保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
4. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特にむつ保健所管内で定点当たり報告数が14.00となり、急増しています。

### II 第30週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															0
小児科	RSウイルス感染症	5	0.63	2	0.22	4	0.40			5	0.83	1	0.25	17	0.40	-15
	咽頭結膜熱	2	0.25	5	0.56			7	1.40	1	0.17			15	0.36	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	8	1.00	2	0.22	20	2.00			13	2.17	3	0.75	46	1.10	22
	感染性胃腸炎	24	3.00	8	0.89	53	5.30	32	6.40	10	1.67	3	0.75	130	3.10	18
	水痘			4	0.44									4	0.10	-5
	手足口病	21	2.63	43	4.78	2	0.20	40	8.00	15	2.50			121	2.88	44
	伝染性紅斑	1	0.13											1	0.02	-8
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	10	1.00					1	0.25	16	0.38	3
	ヘルパンギーナ	22	2.75	5	0.56	6	0.60	1	0.20			3	0.75	37	0.88	13
流行性耳下腺炎					13	1.30			7	1.17	2	0.50	22	0.52	-4	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50											1	0.09	-3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00							14	14.00	15	2.50	12
	無菌性髄膜炎							1	1.00					1	0.17	0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

## 感染症の窓

ヘルパンギーナは乳幼児を中心に主に夏季に流行する、いわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。青森県では、昨年報告された患者の約9割が5歳以下で、最も多いのは1歳でした(図)。小さいお子さんのいる家庭や保育所、幼稚園などでは特に注意が必要です。

ヘルパンギーナはコクサッキーウイルスA群を原因とすることが多く、2~4日の潜伏期を経て突然の発熱に続いて咽頭痛が出現し、のどに水疱性の発しんや炎症を呈します。発熱時に熱性けいれんを伴うこともあります。ほとんどは予後良好です。まれに髄膜炎、心筋炎などを合併することがあります。

ヘルパンギーナは、咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルスによって感染します(飛沫感染)。また、便などに排出されたウイルスが手などを介し、口や眼などの粘膜に入って感染します(接触感染)。予防には感染者との密接な接触を避けることや手洗い・うがいなどが大切です。便へのウイルス排泄は、症状が治まった後も2~4週間続くことがあり、長い間周りの人への感染源となるので注意が必要です。

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ヘルパンギーナとは (国立感染症研究所 HP)

### ヘルパンギーナ (五類定点把握対象疾患)

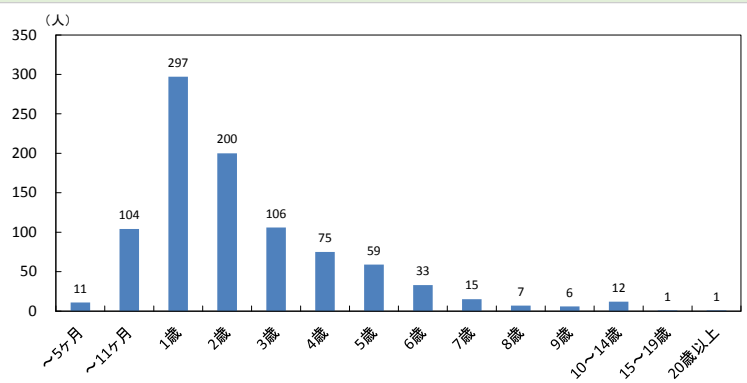


図: 青森県における年齢区分別患者報告数 (2017年)



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、三戸地方1人、五所川原1人、上十三1人、むつ1人  
(2018年計：114人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人  
(2018年計：13人)
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人  
(2018年計：4人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。

麻疹ん疑い患者（全血、6/30）・・・HHV7：弘前1人  
手足口病患者（咽頭ぬぐい液、7/2）・・・ヒトライノウイルスA：八戸市1人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第27週～2018年第30週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	H30.7.2 ~ H30.7.8			梅毒1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人			
28	H30.7.9 ~ H30.7.15		E型肝炎1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤ コブ病1人	レジオネラ症1人		
29	H30.7.16 ~ H30.7.22			百日咳1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
30	H30.7.23 ~ H30.7.29	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人			

・第27週に侵襲性肺炎球菌感染症1名、第29週に百日咳1名、八戸市保健所管内で届け出がありましたので追加しました。

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第27週～2018年第30週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	H30.7.2 ~ H30.7.8	2		2	1	1	
28	H30.7.9 ~ H30.7.15		1	1	3		
29	H30.7.16 ~ H30.7.22	1	2	1	1		2
30	H30.7.23 ~ H30.7.29	1		1	1	1	1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第29週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	11728	2	96	1317	18	12	241	568	7	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	2	1	2	48	1	1	93	71	107	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	23	2	1	1040	2	465	126	946	16

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	415	11	117	421	691	40	277	25	2103	233

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	3686	99	57	31	3542	58	197	9

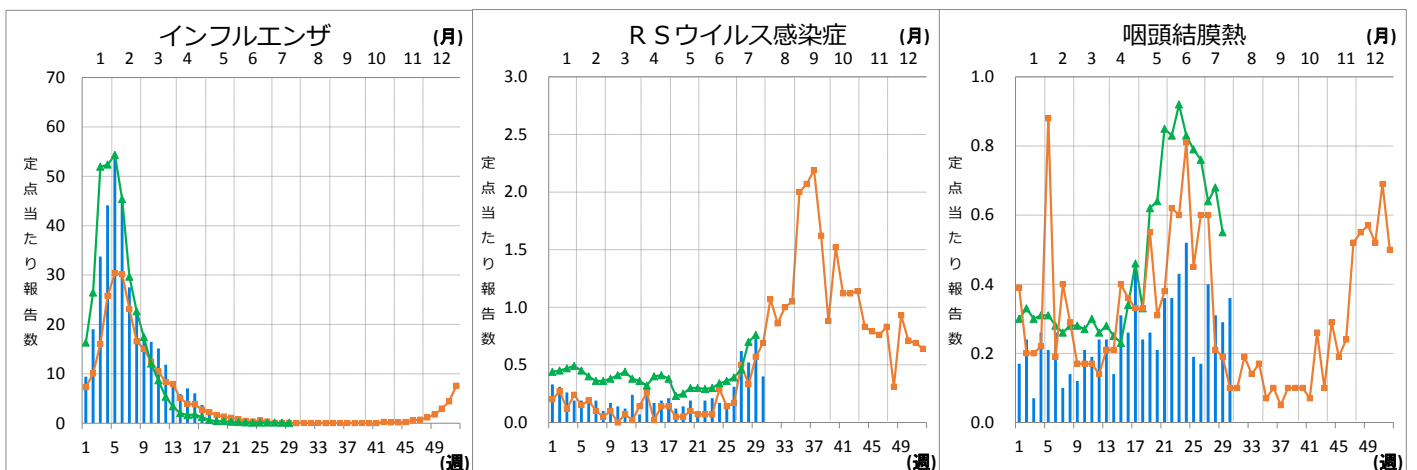
青森県（2018年第1週～2018年第30週までの累計）

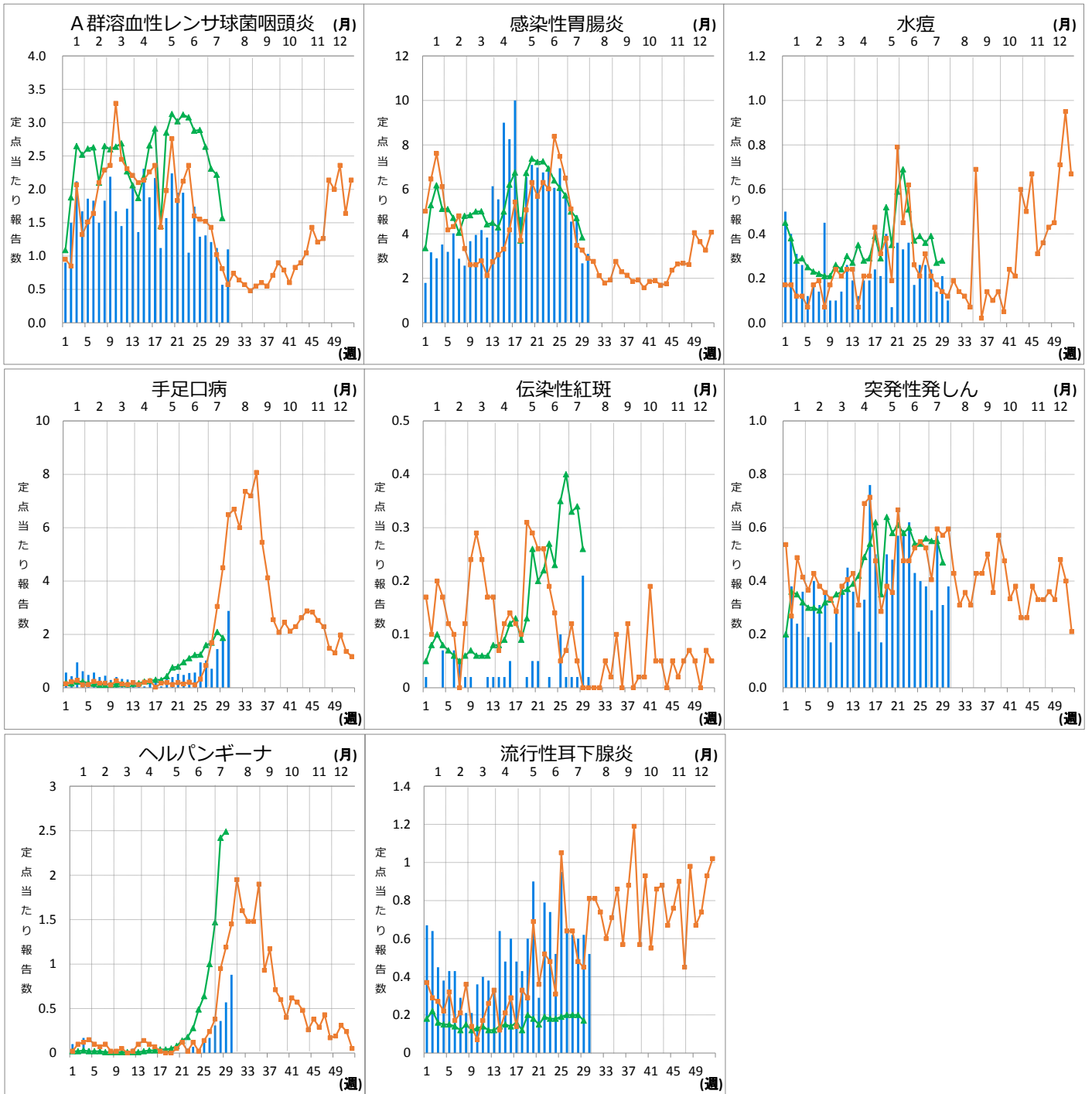
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	114	3	13	1	1	4	3	1	12	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	2	1	8	2	20	4	23

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第30週、ただし全国は前週）

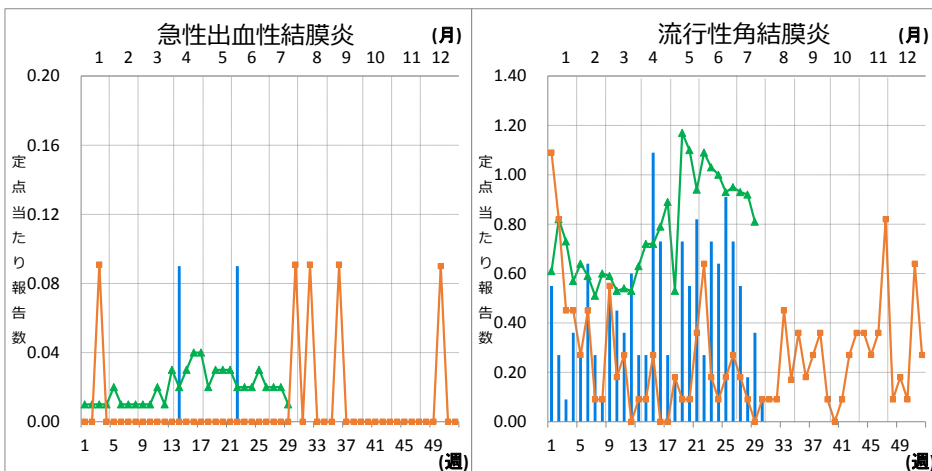
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





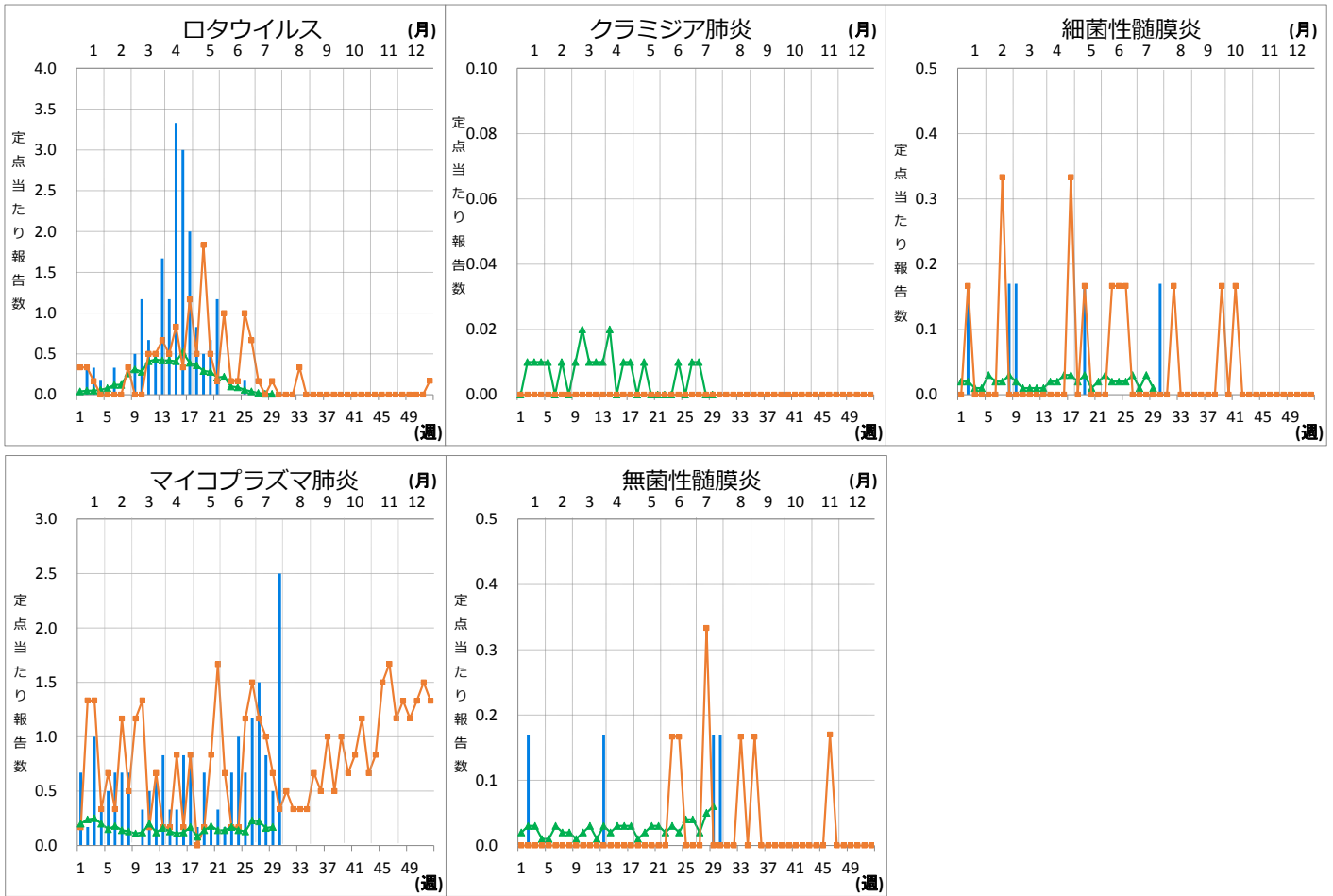
**Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第30週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



**X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第30週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第30週  
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月					計 (施設別)	
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26週	27週	28週	29週	30週		
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	0	0	0	212